

見方・考え方を働かせる

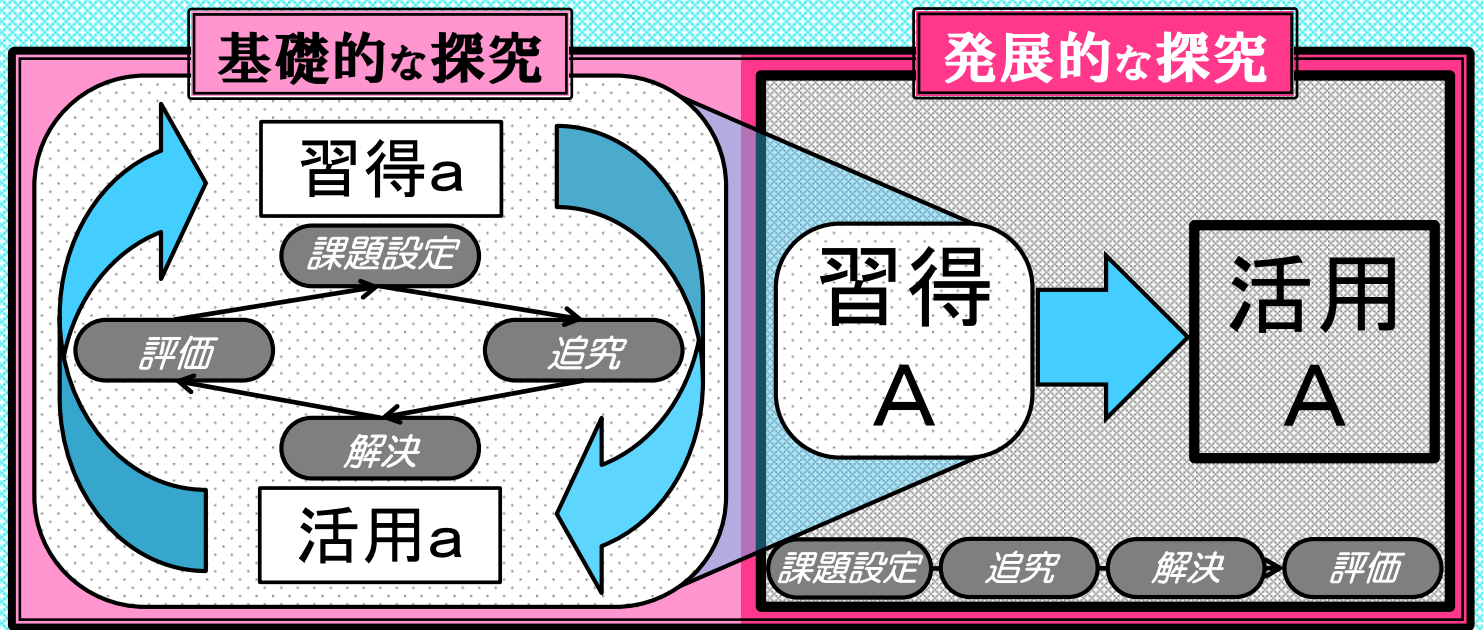
対話の充実

探究とは？

適切な問い

豊かな活用

学びを深める2つのプロセス & 4つの視点



基礎的な探究

と

発展的な探究

からなる探究プロセス

- ① 習得 a…1 時間の学習で新たな知識・技能を身に付ける
- ② 活用 a…習得した知識・技能を用いて思考し、
さらに新たな知識や技能を身に付ける
- ③ 単元を通じて習得 a⇔活用 a を何度も繰り返す

基

- ① 習得 A…基礎的な探究のサイクルを通じ、
概念や一般的な法則等を身に付ける
- ② 活用 A…習得した概念や一般的な法則等を用いて考える

発

探究プロセスの充実を支える 4つの視点

基

見方・考え方

基

問い

基

対話

発

活用

CHECK 1

CHECK 2

CHECK 3

CHECK 4

見方・考え方シートの活用

POINT

社会的事象を見る視点や考え方の具体を示した見方・考え方シートを配布し、適宜使用。

社会科 調べ方・考え方編 (中学年 ver.)

調べたり考えたりする前に...

①予想を立てる時は...

予想を立てる時は...

- 出されたし料を使って。
- これまでの学習をふり返って。
- 自分のけいげんをふり返って。

調べる時は...

調べる時は...

- 何がなくて何が少ないかな。
- どんな場所かな。
- どのように使われているかな。

②いろいろなし料を使ったり、見学したり、体験したり

一つのし料などから考える時

- 〇〇の[し料・お話]から口〇ということがわかります。
- 〇〇のし料を見てみると、■が[多い・少ない]と思いました。→そこから●●●●と考えます。
- これまでの学習から、◎◎◎◎ということがいえるからです。

見方・考え方 安全なくらしを守る 「2 事故や事件を防ぐ」(全 11 時間)

いくつもの

位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの見方や考え方の具体を提示。

京都府交通事故発生件数

中区 事故マップ (京都府警 HP より)

【見方・考え方】①(空間・時間)

事故を防ぐためにゾーン 30 が各地に整備され、京都市内にも年々広がっていることを捉える。様々な標識や標示が地域のいたるところにあったり、ゾーン 30 などの場所が整備されたりすることで、交通事故が起きないようにしていることを関連付けて考えられるようにする。

【見方・考え方】④(空間・時間)

京都市内における交通事故発生件数は、年間 15000 件を上回る数であったが、平成 20 年以降、年々減少してきており、平成 29 年には半分以下の 7000 件ほどになったことを捉える。平成 29 年の中区における事故発生場所の地図を提示し、作成した校区安全マップと比較し、どのような所で実際に交通事故が多く起きているのかを捉える。一年々交通事故発生件数が減少しているがまだ 7000 件以上あること、自分たちの地域にも交通事故が起きそうな場所や実際に起きている場所があることから、身の回りで事故が起きる可能性が高いことを考えられるようにする。

各時間の学習で、子どもたちがより見方・考え方を働かせて思考することが可能に!

2 段階の問いの設定

POINT

1 時間の問いの提示場面を 2 段階に設定し、考える視点を明確に。

第 1 段階

主に社会的事象の事実をとらえる問い

- どのように広がっているのだろう
- いつどのような理由で始まったのだろう
- 〇〇はどのように変わってきたのだろう
- どのようなつながりがあるのだろう

第 2 段階

主に社会的事象の意味について考える問い

- なぜこの場所に集まっているのだろう
- なぜ変わらずに続いているのだろう
- どんな役割を担っているといえるのだろう
- 〇〇することにどんな意義があるのだろう

2 これまでの学習や提示された

外国に

空間・時間・相互作用の視点を生かしながら事実を獲得するための問いを設定。

3 殖産興業・徴兵令・地租改正を行った意味について、予想を基に調べる。

変化・発展・影響 <比較> <関連> <総合>

○政府が行った様々な政策にはどんな意味があったのでしょうか。

- 徴兵令は国民に兵役を義務化したものだ。強い軍隊をもちたかったのかな。
- 3 年間で軍隊に入る必要性があったんだね。
- 富岡製糸場という機械が設置された大きな工場をつかった。
- フランス人を呼んで技術を学んだようだ。
- 地租改正をしたことで、税を現金で納めることになったんだ。
- 現金で税を集めたことで国の収入は安定したようだね。

○なぜ軍勢力・経済力に優れた国づくりを目指す必要があったのでしょうか。

- 新しい工場や地租改正によって経済力を、徴兵令によって軍勢力を高めようとしたんだ。
- 富国強兵というのは経済・軍勢力に優れた国づくりということだね。
- 国に支配されないようにするためには、軍勢力を高める必要

共有した事実を基に、その意味や意義等を考える問いを設定。

対話カードの活用

POINT

どのように対話を行えば考えを深めることができるか、子どもたちに司会・話し手のそれぞれのモデルを提示。

グループ学習 大物司会者 (高学年 ver.)

グループ学習 大物司会者 (高学年 ver.)
・〇〇について調べることで
・どのような解き方で考えまし
・他にどんなことがわかりましたか
・☆☆さんはこの資料からどんなことを見つけたか

それぞれの立場に必要な対話の視点が明らかに!

対立している意見について討議する時
・●●●と〇〇〇〇についてそれぞれの立場の意見を聞きたいと思
・☆☆さんはなぜ●●●と考えるのですか
・☆☆さんは〇〇〇〇と考えています

グループ学習 超一流の話し合い編 (高学年 ver.)

話し合いを始める前に...
自分の考えや意見はしっかりと。どこまで考えたかをしっかりと伝えよう。
調べてわかったことや考えを出し合う時
・〇〇の[資料・結果]を見てください。ここから□□ということが読み取れました。
・☆☆さんと同じ[資料・結果]から、私は■■■ということがわかったと思いました。
・◇◇の学習から□□ということがわかっているので、そこから●●●と考えました。
・まず...次に...だから...となると考えました。
・わたしは〜だと思います。その理由は...だからです。
・最後まで考えをまとめることはできなかったけど、●●●というところまで考えました。
・違う視点から考えました。●●の[資料・結果]からは■■■ということがわかったと考えました。



対立している意見について討議する時
・私は●●●です。その理由は〜
・●●●
・●●●
・●●●
・●●●
・●●●

各教科等の様々な学習場面に応じた対話が可能!

【理由を明確にするときに】
・だから...と思います。
・なぜなら...といえるからです。
【言い換えたりまとめたりするときに】
・つまり...だと考えます。
・それは...と考えられます。
【考えを広げる時に】
・〇〇ということは●●とも考えられます。
・〇〇という他にも●●という考え方もできるのではないのでしょうか。

「考えを広げる」、「優先順位を付ける」、「討論する」等、必要な対話の場面に応じてカードを使い分け!

様々な情報や意見から絞ったり、優先順位を付けたりする時
<調べたことがたくさん出てきた上で>
・☆☆さんの●●が特に大切だと思います。理由は〜だからです。
・〜〜〜という見方もいいと思います。〜という視点をもっと重要です。
・☆☆さんは思いつきませんでした。でも、◇◇ということを見ると、あまり重要ではないと思います。
・●●と◆◆について考えました。〜という視点から●●の方が大切ではないかと思

わかったことや考えたことに意見をつなげる時
<様々な考えや意見が出てきた上で>
・☆☆さんの●●ということから考えました。
・☆☆さんはなぜ□□と考えたのですか。
・□□という意見と●●という意見を併せると、◆◆ということがいえるのではないかと思います。
・わたしも□□と考えました。それは、〜だからです。
・☆☆さんとは見方が少し違います。●●は同じですが、〇〇ということも考えられるのではないかと思います。
・みんなの意見をまとめると、◎◎◎◎◎ということがいえるのではないかと考えます。

注意!!
・意見は簡潔に、要約して話す
・意見を否定しない
・共通点や相違点を考えながら聞く
・一人ですつと話さない
・最後まで話を聞く
・決められた時間内に話す

対話の可視化

POINT

自分たちの対話の実態を可視化し、目指す対話像を認識できるように。

15分でしっかり!!
スタンダードプラン

5分でできる!
ライトプラン

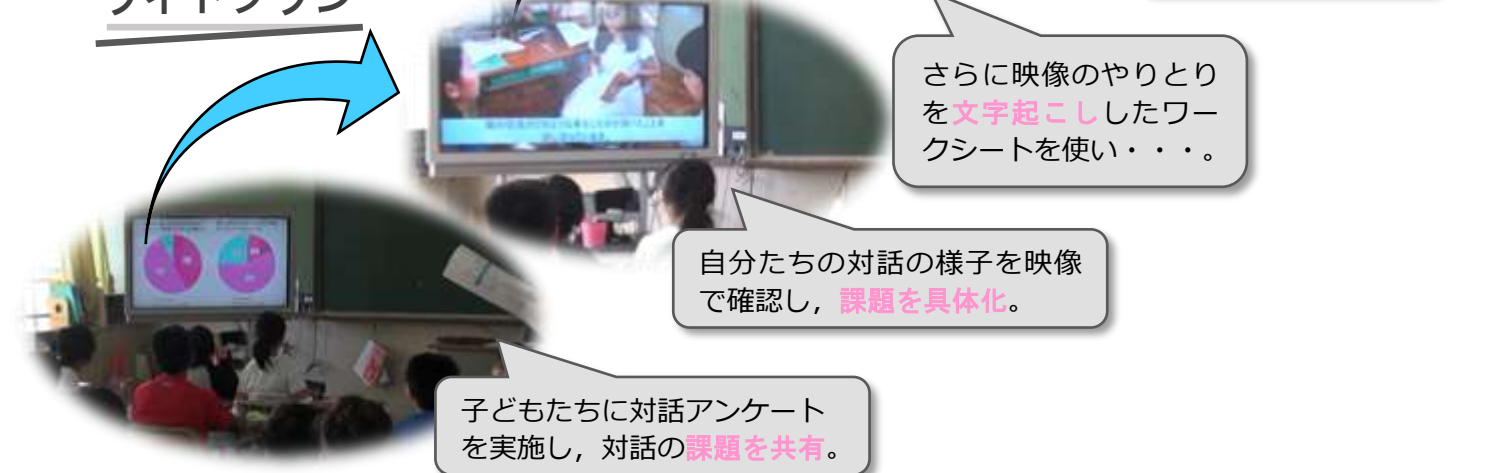
Table titled '話し合いの様子を調べよう' showing a transcript of a discussion with columns for '話し手' (Speaker) and '話し内容' (Content). The content includes a discussion about a policy and its impact on various groups.

対話の内容で色分けして課題を分析!

さらに映像のやりとりを文字起こしたワークシートを使い...

自分たちの対話の様子を映像で確認し、課題を具体化。

子どもたちに対話アンケートを実施し、対話の課題を共有。



活用場面の設定

POINT

習得した概念等を用いてさらに考えを深める場面を設定。

「火事をふせぐ」

習得A
単元のまとめ
消防署や地域の消防団等、様々な人や機関が連携して火災からわたしたちの生活を守っている。

活用A **現実化**
活用Aを図る問い
火災件数を減らして安全な街にするために自分たちはどのようなことができるのだろう。

多様な活用Aの場面を設定。

「事故や事件をふせぐ」

習得A
単元のまとめ
警察署や地域の方々、様々な機関が普段から交通事故の防止や防犯のために活動したり法やきまりをつくることで安全を守ったり被害を小さくしたりしている。

活用A **選択**
活用Aを図る問い
なかなか減らない自転車事故を減らすために自転車を免許制にするべきだろうか。

概念を活用して考える場面を**何度も設定**し、活用する力がUP!

「きょう土をひらく 用水のけんせつ ～琵琶湖疏水～」

習得A
単元のまとめ
京都から東京に都が移ってさみしくなったため、北垣国道知事は京都の町をより住みやすく、さらに発展させ活気を取り戻すために琵琶湖疏水の建設に取り組んだ。

活用A **未来志向**
活用Aを図る問い
60年前に中止になった通船をなぜ復活させたのだろう。

習得Aを生かす

POINT

思考の流れが連続するよう、活用Aは習得Aを生かして考えることができるように。

習得A

学習の内容を**概念図**等でまとめ……

活用A

習得Aでまとめた概念図等を用いて考えを深化。



基礎的^な

探究

しよう！

発展的^な

京都発！確かな教育実践のために 34

主体的に問題解決する子どもを育てる探究的な学習

—汎用的な資質・能力と各教科等の資質・能力を育成する学習の在り方—

発行 平成 31 年 3 月

発行元 京都市総合教育センター 研究課・カリキュラム開発支援センター
〒600-8023 京都市下京区河原町通仏光寺西入ル

TEL 075 - 371 - 2705

FAX 075 - 353 - 4851

